

～勇気ある少女の話～



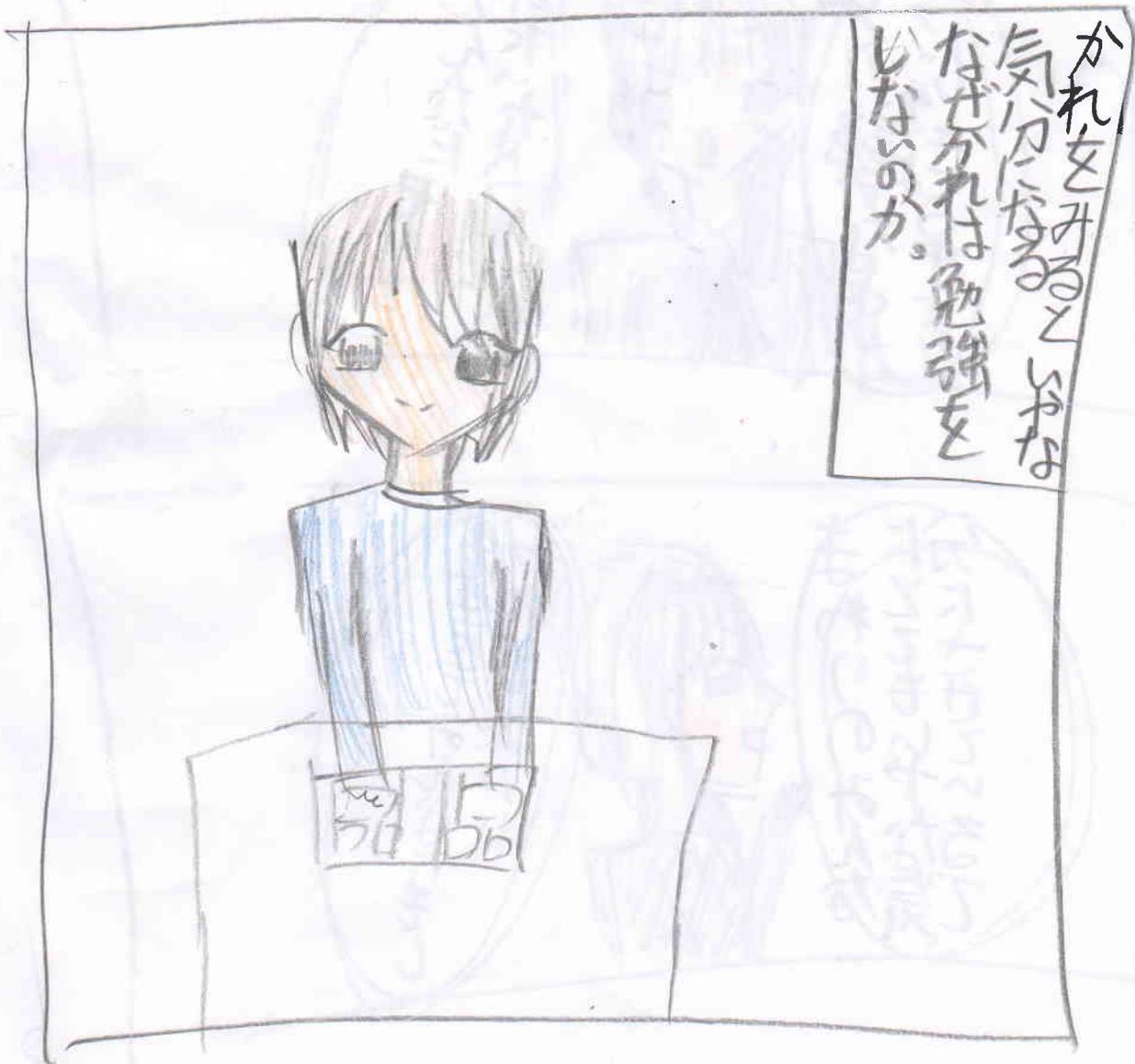


ほのめ
前の友だちは

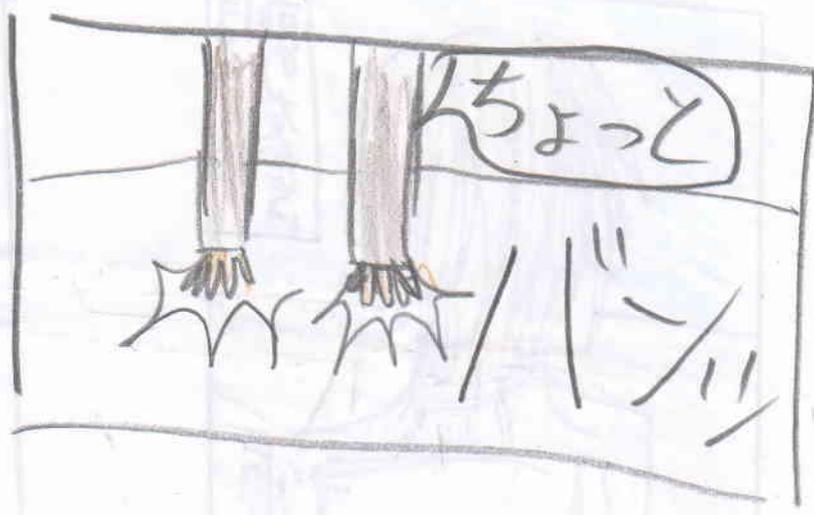


いまだ
うもまを

よたのかたり
したりしている



かれをみるといわな
気分になるといわな
なぞかれは勉強を
しないのか。



そんなんまじ
席がえで...





あからさまに
いひなす

教室が氷ついで

かかれの目の
涙が...
ピチャ

大丈夫の涙
がこぼれ
たんだ



注意してくれた
のは君が初めて
だよ
ありがとう

かれはさみしか
たのかもしれない

ナー(

かれはしずか
にノートをと
りだした。

そのとき……

ねてるの!!

あんたいつまで

ママの音だった。

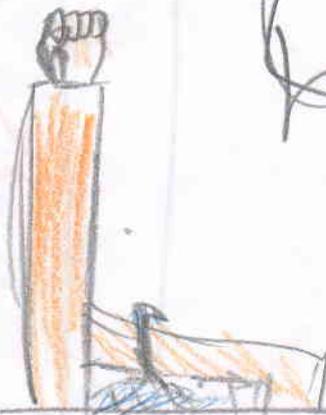


ライオンのような

なんだ「ゆめが」



「ふ」





このゆめはぼくに大切な
ことを教えてくれる
ような気がした